

## 佐賀市では、「蚊の幼虫」を駆除しています

佐賀市の自然環境の特徴として、クリーク等が多いため、蚊が多く生息しています。

昭和60年度までは成虫の駆除をしていましたが、昭和61年度からは、より駆除効果の高い、幼虫（ボウフラ）駆除に切り替え、実施しています。



## 夜間活動する「蚊」の対策

夜に人を刺す蚊の種類は、主に『アカイエカ』です。

アカイエカは、昔から佐賀平野にいて、クリークや水路で幼虫が成長し、成虫になって主に夜、人を刺します。



### 対策

4月から10月にかけて、佐賀市内のクリークや水路で幼虫（ボウフラ）の調査をし、ボウフラがいれば薬剤を用いて駆除し、アカイエカが増えないよう努めています。

平成27年度に調査したクリークや水路の数は、長崎自動車道より南で約1800か所です。

薬剤は、魚や他の昆虫に害が少ない成長制御剤や脱皮阻害剤を用います。成虫になる事ができず、幼虫やサナギのまま死滅します。



## 昼間活動する「ヤブ蚊」の対策

昼に人を刺す蚊はヤブ蚊と呼ばれるもので、佐賀では『ヒトスジシマカ』が多く見られます。

ヤブ蚊は、家の周りの「境界ブロックの穴」や「タメマス」「植木鉢の受け皿」等の小さな水たまりで孵化し、成虫になって主に昼、人を刺します。



### 対策

ヤブ蚊を増やさない方法として、家の周りの水たまりをなくすよう呼びかけています。

## ユスリカ 対策



家の壁にはりつき、集団で蚊柱となって飛び回る、一見蚊に見える虫がいます。それが『ユスリカ』です。ユスリカは「ハエ」の仲間で、人を刺しません。

### 対策

ユスリカを増やさない方法（側溝やタメマスの清掃、川の清掃）をアドバイスしています。